

超速硬化ウレタンスプレー施工の社内検定制度 厚生労働省大臣認定を取得、記者会見を開催

スプレーウレタン・ウレア工業会

スプレーウレタン・ウレア工業会(SUK: 東京都渋谷区)では10月24日付けで、厚生労働省より「超速硬化ウレタンスプレー施工」社内検定制度の認定を受けた。

11月20日(木)ダイフレックス第一会議室に報道関係各社を集め、同工業会丸島勝昭会長らが出席して記者会見を開催した。

挨拶に立った丸島会長は「当工業会は2009年7月に発足し現在68社で、①スプレーウレタン・ウレアによる新たな用途展開と新しい市場の需要を喚起する②施工業者の経営基盤を安定且つ発展を目指す③施工技術、機会メンテナンスの技術を共有化する④施工スピードの迅速化、効率化による短工期を実現する⑤材料・施工を通じ環境に貢献する、などを目的として活動を展開している。建築防水業としては、アスファルト防水、塗膜防水、シート防水など工法別に各種の技能検定が実施さ

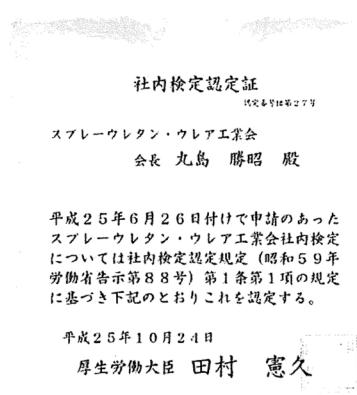
れ、数多くの技能者を育成してきているが、このスプレーウレタンの施工については今まで技能検定制度がなかった。このことを受け、この数年間準備し厚生労働省への働きかけなどを行ない、「超速硬化ウレタンスプレー施工」社内検定制度として厚生労働省大臣認定を取得することができた。今後は、スプレーウレタンの特性を生かし、大幅な工期短縮・省力化などの効果を含め、技術向上に努めて行きたい」と喜びの声を上げた。統いて工業会の顧問である渡辺氏が「厚生労働省が認定する社内検定制度とは」と題して①社内検定の目的②検定の基準③検定の実施体制④社内検定のメリット⑤SUKが行なう社内検定の名称と資格者の名称⑥受験者資格⑦試験内容など多岐に渡り詳細な説明が行なわれた。

なお、今後のスケジュールは以下のとおり。

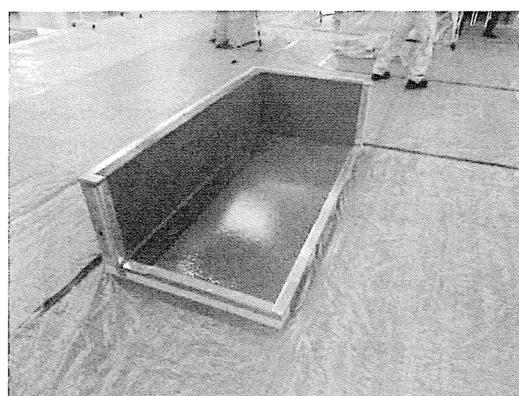
平成25年度学科試験：平成26年3月5日(東京都立多摩職業訓練能力開発センター府中校)

実技試験：平成26年3月6～8日(同府中校)

合格発表：平成26年3月30日



- 1 認定事業主等の名称 スプレーウレタン・ウレア工業会
- 2 認定事業主等の所在地 東京新宿区西早稲田3-24-3
- 3 認定内検定の名称 スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定
- 4 認定内検定の特徴 超速硬化ウレタンスプレー施工



実技試験施工作業

スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定について

株式会社ダイフレックス 事業推進本部

横山淳之輔

1. はじめに

2009年7月に発足したスプレーウレタン・ウレア工業会(略称: SUK)は、2013年10月24日厚生労働大臣より『スプレーウレタン・ウレア工業会社内検定』(認定番号団27号)、対象職種『超速硬化ウレタンスプレー施工』として認定を受けました。

さて、これから社内検定事業を立ち上げていきますが、超速硬化ウレタンスプレー工法は、時代の要請である短工期の実現や施工者不足を補う画期的な工法であります。その一翼を担う技術者の養成のために検定を実施し、多くの施工技術者を世に送り出すことが会の使命でもあります。次項では SUK の概要、社内検定の概要と本検定の制度について説明していきます。

2. スプレーウレタン・ウレア工業会について

本会は、ダイフレックスグループ(=㈱ダイフレックス、コスマック事業部、ディックブルーフィング㈱)が開発した超速硬化ポリウレタン、ポリウレア及び関連製品の市場拡大と会員の収益向上を図り、共同して製品・施工技術の研究とレベルアップを目的として2009年7月に発足いたしました。会員数は2013年7月現在で68社。

本会の事業は

1. 市場調査並びに需要開拓に関する事業
2. 技術情報の交換及び研究開発に関する事業
3. 当該製品の機械施工技術の改善、向上に関する事業
4. 官公庁などの諸機関並びに関係団体その他との連絡協議
5. その他本会の目的を達成するために必要と認められた事項

活動として会員の販路拡大や受注促進の為のカタログ・施工マニュアル・販促ツールの制作、ホームページの充実を図ること等を行っています。

3. 社内検定制度について

制度の概要を説明いたしますと、社内検定制度とは昭和59年に当時の労働省告示第88号に第1条第1項により発足した制度で、その条文は『厚生労働大臣は、労働者の職業に必要な能力(以下「職業能力」という。)の開発及び向上と職業能力を有する労働者の経済的社会的地位の向上に資するため、事業主又は事業主の団体若しくはその連合団体(以下「事業主等」という。)が、その事業に関連する職種について当該事業主等が雇用する労働者(事業主の団体又はその連合団体にあっては、その構成員である事業主が雇用する労働者)の有する職業能力の程度を検定する制度であって、技能振興上奨励すべきものを認定するものとする』となっています。

(1) 制度の目的

社内検定認定制度は、事業主又は事業主団体等が、その雇用する労働者等の技能の向上と経済的社会的地位の向上に資することを目的に、労働者が有する職業に必要な知識及び技能について、その程度を自ら検定する事業(すなわち社内検定)のうち、一定の基準に適合し技能振興上奨励すべきものを厚生労働大臣が認定するものです。

- 1) 社内検定を実施する事業主等が、社内検定の実施に必要な資産及び能力を有するものであること。
- 2) 社内検定が労働者の職業能力の向上及び合格者に対する社会的評価の向上に資するものであること。
- 3) 対象職種に係る検定の基準が適切であること。
- 4) 社内検定の公正な運営のための組織が確立され、か

つ、検定に当たるものの中の選任の方法その他検定の実施の方法が適切かつ公正であること。

(2) 認定の対象とならないもの

認定の対象となる社内検定は、労働者の技能の向上を図る観点から実施する社内検定で、製造業、建設業をはじめ第三次産業の職種まで広くその対象となります。次のようなものは認定の対象とはならないとなっています。

- 1) 技能検定と競合する職種についての検定
- 2) 英語検定、珠算検定等一般的な教養を対象として実施される検定
- 3) 係長登用試験や国内留学生試験等人事管理のため選別することのみを目的として実施される検定
- 4) 他の法令に基づき実施される検査、検定、試験、研修と競合するもの

(3) 認定の効果

この厚生労働大臣の認定を受けると、技能振興上奨励すべきものとして認められ、「厚生労働省認定」の表示をすることができるため、以下のような効果が期待されるとしています。

- 1) 社内での技能評価に権威と客觀性を持たせることができる
- 2) 社内検定の合格が待遇に結合しやすい素地を与える
- 3) 技能水準の向上や職場の活性化を図る上で効果的である
- 4) 事業主の団体が実施する場合には関連企業相互間における技能水準の統一的向上や地域社会における技能尊重気運の醸成等が図られる

(4) 現在行われている主な社内検定の事例

- セキスイハウス主任技能者検定
- ダイワハウス施工主任技能者検定
- トヨタ産業車両サービス技能検定
- ニコン社内技能検定
- 西日本床工事事業協同組合社内検定

日産販売士社内検定

日本窓業外装材協会社内検定

パナソニック技能検定

東日本床工事事業協同組合社内検定

ビケ足場仮設事業協同組合社内検定 他

2011年現在45種が認定されています。

4. スプレーウレタン・ウレア工業会 社内検定について

2012年2月にスプレー検定準備委員会を、委員長に東京都塗膜防水技能検定協議会々長のレオン工業代表取締役 渡辺様、委員に㈱ジョスコム代表取締役 川上様、㈱鈴木乃防水耐火板代表取締役 鈴木様を招聘し、事務局、社内スタッフ計8名で発足させ準備を進めてまいりました。15回の準備委員会と2回のトライアル、東西1回ずつの検定講習会を実施しその内で体制を整え、トライアルによって検定の進め方などスタッフで共有してきました。厚労省との交渉では担当官が短い期間で交代されるという事態や他団体の申請と競合しそうになるという想定外の出来事があり、一時は目標のスケジュールで認定を受けることが大変厳しい状況に追い込まれました。しかし、委員の使命感によって一つ一つこれらの条件をクリアし、やっとの思いで認定に辿り着くことができました。10月24日の認定証授与式には、渡辺委員長と川上SUK副会長と筆者の3名で厚労省職業能力開発局に出向き、伊藤能力評価課長より川上SUK副会長に授与されました。この認定概要は

認定事業主の名称：スプレーウレタン・ウレア工業会

認定事業主等の所在地：東京都渋谷区代々木3-24-3

認定社内検定の名称：スプレーウレタン・ウレア工業会
社内検定

認定社内検定の対象職種：超速硬化ウレタンスプレー施工

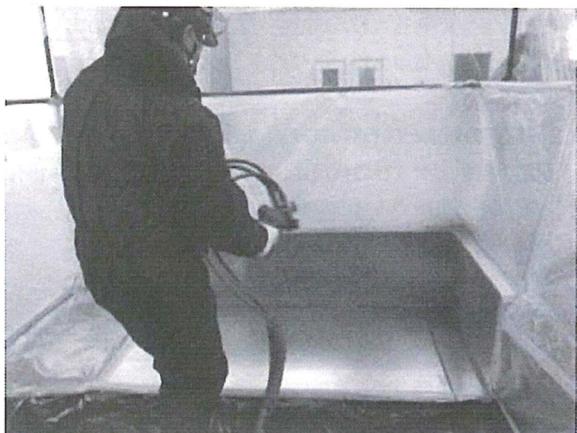
合格者に付与する称号：超速硬化ウレタンスプレー施工
主任技術者

というものでした。

トピックス



検定トライアル架台



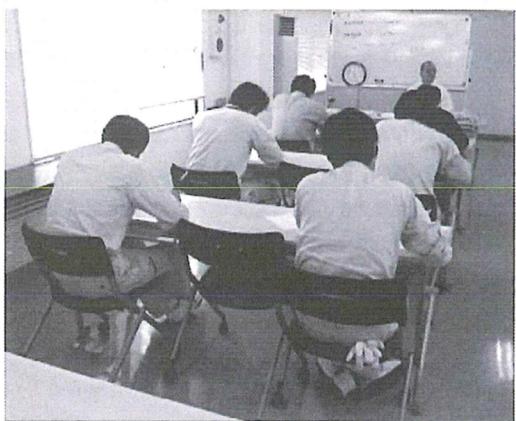
吹付けの様子

5. おわりに

このたび認定を受けることができましたが、これからが本番です。本検定事業を継続していくために準備委員のメンバーが、そのまま運営委員となり事業を運営してまいります。

2020年の東京オリンピックを控え、建築・土木の新規工事、修繕工事ともに益々増えることが予想されます。このような状況下では工事技術者不足となり、工事が滞ったりストップしてしまった危険性があります。本検定が技術資格者の増加により短工期の実現や技術者不足を少しでも解消できることに貢献できれば幸いに思います。

最後に、この検定の認定にご尽力いただいた渡辺準備委員長はじめ委員会メンバー及びSUK丸島会長他、関係各位に感謝申し上げます。



学科試験トライアル